

平成21年度 都市整備部 部局長マニフェスト

私の思い 都市整備部長 井上 章

～「Reチャレンジ」の精神で更に一步先へ～

都市整備部は、交通ネットワークの強化等により、経済の活性化や都市の再生を図るとともに、地震や水害など自然災害への確かな備えを行い、魅力的な都市環境の創造などを目指しながら、着実に都市基盤施設の整備を進め、適切な維持管理に努めます。



その上で、これまでのチャレンジ精神を更に発展させた「Reチャレンジ」の精神で更なる一步を踏み出し、次の重点課題に挑戦します。

【広域交通ネットワークの形成】

関西の復権には、人・モノ・情報の流れのネットワークの構築が必要です。戦略的な広域交通ネットワークづくりに向けた一步を踏み出します。

【大阪の魅力づくり・地域の再生】

「水都大阪の再生」など大阪の魅力の向上に向けた取組みを推進するとともに、地域の皆さんと共に地域の活性化に向けた一步を踏み出します。

【国直轄事業制度の抜本的改革（地方分権改革の推進）】

国と地方の適正な役割分担の構築に向けた、新たな一步を踏み出します。

【資産活用による財源確保の推進】

職員の様々な発想を活用し、財源確保に向けた新たな一步を踏み出します。

重点課題**1．広域交通ネットワークの形成**

～関西におけるミッシングリンクの解消～

2．大阪の魅力づくり・地域の再生

～地域から大阪を変えていく～

3．国直轄事業制度の抜本的改革（地方分権改革の推進）

～大阪から国を動かす～

4．資産活用による財源確保の推進

～良好な維持管理のために～

【重点課題 1：広域交通ネットワークの形成】

遂行目標 (プロセス)	業績目標 (結果)
<p>【1.戦略課題の目標】 広域交通ネットワークの形成</p> <p>国土軸とベイエリアや関空との連携、道路・鉄道の「ミッシングリンク」の解消、利用しやすい高速道路料金体系の確立などにより、関西の復権を目指す。</p>	<p>【4.アウトカムの数値目標】 京都・大阪間の道路交通が便利になったと実感</p> <p>・ ・ ・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>施策の進捗状況に応じ、次年度以降、業績目標を設定</p> </div>
<p>【2.施策推進上の目標】</p> <p>第二京阪道路・関連府道の完成・供用 ・ H22.3月に完成・供用</p> <p>淀川左岸線延伸部の具体化に向けた取組 ・ H21.5月に実務者事前協議を実施 ・ 都市計画手続きの着手に向けて国、大阪市、高速道路会社と合意 ・ 地方負担の軽減を図る事業スキームについて京阪神高速道路整備促進協議会で検討、国へ提案</p> <p>新名神高速道路の未着工区間の事業化に向けた取組 ・ 次期、国土開発幹線自動車道建設会議の場で早期事業化が位置づけられるよう国へ積極的に働きかける</p> <p>高速道路の料金体系一元化の具体化に向けた取組 ・ H21.5月に一部関係者と勉強会を立上げ ・ 新たな料金体系について府・県、政令市、高速道路会社と合意</p> <p>なにわ筋線の具体化に向けた取組 ・ H21.5月に実務者事前協議を実施 ・ H21.7月から国が実施する都市鉄道調査に参画し、主体的な役割を担う ・ ルートや構造等について国、大阪府、大阪市、鉄道事業者等で検討 ・ 事業スキームについて府と市で国へ提案</p>	<p>【3.アウトプットの数値目標】</p> <p>京阪間の所要時間 (大阪市役所～京都市役所間) 2時間〔国道1号利用〕 1時間</p> <p>・ ・ ・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>施策の進捗状況に応じ、次年度以降、業績目標を設定</p> </div>

【重点課題 4：資産活用による財源確保の推進】

遂行目標 (プロセス)	業績目標 (結果)
<p>【1.戦略課題の目標】</p> <p>資産活用による財源確保の推進 (安全・安心を守る都市インフラの確実な維持管理のために)</p> <p>都市整備部の根幹的業務(維持管理)を確実に実行する上で財源が不足! 職員が一丸となって、自らの手で財源を確保し、適切な維持管理に努める。</p>	<p>【4.アウトカムの数値目標】</p>
<p>【2.施策推進上の目標】</p> <p>事業予定地や道路高架下用地の貸付、廃川及び廃道など未利用地の売却等による収入の確保</p> <p>・H21.6月・11月・H22.3月に公募を実施(3回)</p>	<p>【3.アウトプットの数値目標】</p> <p>貸付及び売却等による収入額</p> <p>・今年度、手続きに着手できる土地全て(77件、約4.1ha)の貸付及び売却により6億円(貸付1億円・売却5億円)の収入を確保</p> <p>(貸付目標：23億円(H20～H29)) (売却目標：84億円(H14～H23))</p>